



高円宮牌 2014ホッケー日本リーグ 【 女子 】 第 3 節 第 2 日

開催日時 5 月 4 日 ( 日 ) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 ----- 10:00	山梨学院 CROWNING GLORIES	3	$\begin{pmatrix} 1 - 2 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$	3	立命館大学ホリーズ
第2試合 ----- 11:40	グラクソ・スミスクライン Orange United	2	$\begin{pmatrix} 2 - 2 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	3	南都銀行 SHOOTING STARS
第3試合 ----- 13:20	東海学院大学	0	$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ
第4試合 ----- 15:00	ソニーHC BRAVIA Ladies	1	$\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	1	コカ・コーラウエストレッドスパークス

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院 CROWNING GLORIES 3  $\begin{pmatrix} 1 & -2 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$  3 立命館大学ホリーズ

勝点 7  
2 勝 1 分 4 敗

勝点 7  
2 勝 1 分 4 敗

<得点>

山梨学院 : 27分近藤、67分近藤、70分高田

立命館大 : 12分坂井、19分一谷奈、55分一谷麻

<戦評>

立命館大学ホリーズのセンターパスにより試合が開始。開始早々にリズムを掴んだのは立命館大。右サイドから攻めるが山梨学院CROWNING GLORIESの堅いDFによりチャンスをつくることできない。対する山梨学院はその堅いDFから前線への1本のパスで攻め、GKと1対1となるが立命館大#1GK要石が止める。12分立命館大はテンポよくパスを繋ぎ#12湯浅のセンタリングを#7坂井がトラップして、プッシュシュートを放ち先制点をあげる。19分立命館大はPCを取得。#11木原がスイープで左に流し、#17一谷が合わせ追加点を得る。一方、山梨学院は27分カウンターからPCを獲得。#4近藤がヒットシュートを豪快に放ち、1点を返す。前半はそのまま終わり、2-1で折り返す。

後半早々38分、山梨学院#5山田がPCを取得するも立命館大DFによって得点できない。その後は一歩も譲らない攻防が続く。均衡を破ったのは立命館大。55分に続けざまにPCを取得。#5一谷のフリックシュートで追加点をあげる。67分山梨学院はPSのチャンスを得る。#4近藤が決め1点差とする。終了間際70分に山梨学院がPCを取得。そのチャンスを#2高田がリバウンドでゴールを決め3-3の同点で試合

テクニカルオフィサー	中野 典子	アンパイア	藤原 真由美
ジャッジ	荻谷 和代・梶田 賢二		根岸 郁美

第2試合

グラクソ・スミスライン Orange United 2  $\begin{pmatrix} 2 & -2 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$  3 南都銀行 SHOOTING STARS

勝点 9  
3 勝 0 分 4 敗

勝点 15  
5 勝 0 分 2 敗

<得点>

グラクソ : 29分片峯、32分伴田

南都銀行 : 8分眞鍋、15分鹿取、48分鹿取

<戦評>

グラクソ・スミスラインOrangeUnitedのセンターパスで開始。立ち上がりから両チーム積極的に攻撃を仕掛け、サークルに侵入するが得点には至らない。8分南都銀行 SHOOTING STARSがPCを取得。#3眞鍋のヒットに#5勝山が合わせタッチシュートを決め先制する。勢いづいた南都銀行は15分PCを取得。#4鹿取がタッチシュートを決めリードする。29分グラクソはセンタリングに#8片峯がタッチを合わせ1点差とする。32分グラクソはPCを取得。#3伴田が豪快なヒットを放ち2-2の同点とし前半を終える。

後半は両チームにサークル内に攻め込むも堅い守りに阻まれて得点へ繋がらない。48分南都銀行が相手サークルへ侵入。混戦の中#4鹿取がゴールへ押し込み勝ち越す。対するグラクソは反転速攻を仕掛けるも得点できない。試合終盤、グラクソ選手がイエローカードで退場し数的優位を得た南都銀行だったが、グラクソの粘り強いDFの前に追加点をあげられない。そのまま3-2で南都銀行が勝利した。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	高橋 英行
ジャッジ	鹿野 育郎・細江 秀和		元宗 宏寿

第3試合

東海学院大学 0  $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$  0 天理大学ベアーズ

勝点 4  
1 勝 1 分 5 敗

勝点 1  
0 勝 1 分 6 敗

<得点>

東海学院 :  
天理大学 :

<戦評>

天理大学ベアーズのセンターパスにより試合が開始。互いに一步も譲らない攻防が続く中、東海学院大学が18分PCを取得。均衡が破られたかと思われたが天理大学GK#28中村の好セーブにより得点できない。その後東海学院が果敢にサークルに侵入するも天理大学の堅いDFに阻まれて得点には至らない。0-0のまま前半を終える。

後半に入ると天理大学が相手陣内でプレーする時間が長くなり、サークル内への侵入も増えるが得点には至らない。53分天理大学はPCを取得。東海学院はGK#1清水の好セーブによりこのピンチを乗り切る。その後も両チームの激しい攻防が繰り広げられるが、両チームも得点できないまま0-0の引き分けで試合が終了した。

テクニカルオフィサー	中野 典子	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	荻谷 和代・梶田 賢二		木下 英貴

第4試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 1  $\begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$  1 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 19  
6 勝 1 分 0 敗

勝点 19  
6 勝 1 分 0 敗

<得点>

SONY : 35分深野  
CCWR : 34分新井

<戦評>

ソニーHC BRAVIA Ladiesのセンターパスで開始。立ち上がりから激しいボールの奪い合いが続き一進一退の攻防が繰り広げられる。最初にチャンスを掴んだのはSONY。24分#3及川のセンタリングを#8深野が合わせるが枠を捉えることができず、得点に至らない。31分混戦の中CCWRが立て続けにシュートを放つがGK#1浅野の好セーブやDFの厚い守りを破ることができない。34分CCWR#19金藤のシュートボールに#9新井が合わせて待望の先制点をあげる。このまま前半終了かと思われた35分SONYがPCを取得。#3及川のボールに#8深野が合わせ、1-1の同点で前半が終了した。

後半開始早々38分。CCWR#9新井がサークルに侵入するもSONYの堅いDFに阻まれ得点に至らない。45分SONYがPCを取得。CCWRの低いDF前に得点できない。両チームとも激しい中盤戦を繰り広げ、隙を見つけてはサークルまでボールを持ち込むも互いに決定的なチャンスを得られない。62分SONYがPC取得。#4坂井がフリックシュートを放つも#2朴の好セーブで得点をゆるさない。両チームとも追加点を狙うも得点できないまま試合が終了した。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	鹿野 育郎・細江 秀和		我妻 順子